

令和4年度 第3回松江市入札監視委員会

議 事 概 要

開催日及び場所	令和5年2月10日(金) 松江市役所 第2別館4階 会議室	
委 員	委員長 大屋 誠 (松江工業高等専門学校環境・建設工学科教授) 委 員 藤本 晴久 (島根大学法文学部法経学科准教授) 安部 寿鶴子 (道の駅本庄企業組合専務理事) 永野 茜 (弁護士) 利弘 健 (公認会計士)	
審議対象期間	令和4年8月1日～令和4年11月30日	
報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ● 落札率等の状況について ● 入札方式別発注工事等の状況について ● 指名停止等の運用状況について 	
審 議 事 項	抽出案件数 5件	
	(備考) 抽出の考え方(抽出担当委員) 次の点に着目し、案件の抽出を行った。	
	一般	西持田不燃物処理場土堰堤築堤工事 深田野原地区道路改良その9工事
	指名	市道下佐陀古志線新共栄橋長寿命化対策その3工事 中海大橋補修耐震補強設計業務委託
	随契	テルサ大規模改修事業エレベーター更新工事
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見又は勧告の内容	なし	

※ 参考までに、各抽出事案の「抽出事案説明書」を添付します。

抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札（総合評価）				
工事名	西持田不燃物処理場土堰堤築堤工事				
工期	令和4年8月30日～令和5年3月27日				
工事種別	土木一式工事				
工事概要	工事場所：松江市西持田町 工事概要：路体盛土 V=18,500 m ³ 路床盛土 V=600 m ³ 種子散布工 A=4,250 m ² ベンチフリューム L=104m L型側溝 L=108m 横断用側溝 L=17m 現場打ち集水桝 N=4 箇所 表層 A=720 m ²				
入札参加資格	①格付け又は総合点数 A等級の者。 B等級のうち、市発注のR3年度完成の工事が複数あり、平均77点以上の者。ただし、R3年度完成が1件以下の場合はR2年度も対象とする。 ②営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。 ③工事实績 元請又は共同企業体（経常JVを除く）の構成員（ただし出資比率20%以上）として、国（公団、公社を含む）、都道府県（公社を含む）又は松江市（合併前の旧市町村を含む。松江市にあっては、公社等を含む。）発注の工事において、平成19年度以降に完成した1契約で2500万円以上の土木一式工事。 ④配置技術者 建設業法に基づく、主任技術者又は監理技術者を配置すること。 監理技術者にあっては、土木工事業に係る監理技術者資格者証の交付を受けており、かつ監理技術者講習を受けている者であること。				
入札参加資格設定の理由及び経緯	設定理由：「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。 経緯：令和4年3月7日、島根県総合評価委員会において審議の結果決定した。				
入札参加資格確認申請業者数	2者	入札参加業者数	2者	無資格業者数	なし
予定価格（税込）	70,409,900円				
調査基準価格（税込）	64,042,000円				
契約金額（税込）	69,300,000円（落札率：98.42%）				

<p style="text-align: center;">入 札 の 経 緯 及 び 結 果</p>	<p>令和4年8月19日 開札（8月23日落札決定）</p> <p>第1回目入札で2者の応札があり、内1者はこの入札の前に行われた同日の入札において低入札となり、同一の配置予定技術者を本案件にも配置予定としていた。</p> <p>このことについて、「松江市建設工事低入札価格調査制度実施要領第16条第3項」において</p> <p>「複数の工事に同一の技術者を配置技術者として資料を提出することは可能であるが、先に開札を実施した配置技術者の専任が必要な工事において、低入札価格調査制度による重点調査が必要となった場合、落札候補者の有無に関わらず、この重点調査が終了するまで（開札から落札決定まで）の期間に開札が行われた、同一の技術者を配置技術者として提出した事業者の入札は無効として取り扱う。」と規定していることから、当該業者の入札を無効とした。</p> <p>残る1者について総合評価を実施し、技術点数と入札価格を用いて算出した評価値により順位を確定し、予定価格以下及び調査基準価格以上での応札であったことから競争入札参加資格の事後審査を行い、審査の結果参加資格を満たすことが確認できたため、カナツ技建工業（株）に落札決定。</p>
--	--

抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札				
工事名	深田野原地区道路改良その9工事				
工期	令和4年9月22日～令和5年1月27日				
工事種別	土木一式工事				
工事概要	工事場所：松江市鹿島町 工事概要：側溝工 L=127m 舗装工 A=490 m ² ガートレール L=85m				
入札参加資格	①格付け又は総合点数 A等級又はB等級の者。 C等級のうち、市発注のR3年度完成の土木工事が複数あり、平均78点以上の者。ただし、R3年度完成が1件以下の場合はR2年度も対象とする。 ②営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。 ③工事実績 元請又は共同企業体（経常JVを除く）の構成員（ただし出資比率20%以上）として、国（公団、公社を含む）、都道府県（公社を含む）又は松江市（合併前の旧市町村を含む。松江市にあっては、公社等を含む。）発注の工事において、平成19年度以降に完成した1契約で1000万円以上の土木一式工事。 ④配置技術者 建設業法に基づく、主任技術者又は監理技術者を配置すること。 監理技術者にあっては、土木工事業に係る監理技術者資格者証の交付を受けており、かつ監理技術者講習を受けている者であること。				
入札参加資格確認申請業者数	1者	入札参加業者数	1者	失格業者数	なし
予定価格（税込）	39,879,400円				
最低制限価格（税込）	35,902,900円				
契約金額（税込）	39,589,000円（落札率：99.27%）				
入札の経緯及び結果	令和4年9月13日 開札（9月14日落札決定） 第1回目入札で1者の応札があり、予定価格以下及び最低制限価格以上での応札であったことから、競争入札参加資格の事後審査を行い、審査の結果参加資格を満たすことが確認できたため、極東インフラプロテクト(株)に落札決定。				

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	市道下佐陀古志線新共栄橋長寿命化対策その3工事
工期	令和4年9月8日～令和5年3月14日
工事種別	塗装工事
工事概要	<p>工事場所：松江市古志町</p> <p>工事概要：施工延長 L=14.0m（第4径間）</p> <p>塗膜除去工（塗膜剥離剤×2回） A=471 m²</p> <p>塗装塗替工 A=226 m²</p> <p>当て板補修工 N=6組</p> <p>支承取替工 N=6基</p>
工事のランク	なし
指名業者数	7者
指名業者を選定した考え方	<p>市登録業者で、下記の条件を満たす全者を指名</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「塗装工事業」の建設業許可を受けていること。 ● 建設業法に規定する主たる営業所を市内に有すること。 ● 塗装工事の直営による施工実績があること。 ● 1級建築塗装技能士の有資格者を常勤雇用していること。 ● 電子入札登録者であること。
入札参加業者数	6者
予定価格（税込）	42,957,200円
最低制限価格（税込）	38,046,800円
契約金額（税込）	42,680,000円（落札率：99.35%）
入札の経緯及び結果	<p>令和4年8月31日 開札</p> <p>第1回目の入札で6者が応札し、内1者が予定価格以下の応札であり最低制限価格を上回っていたため、安島工業(株)に落札決定。</p>

抽出事案説明書

入札方式	随意契約
工事名	松江テルサエレベーター更新工事
履行期間	令和4年8月9日～令和5年3月24日
工事種別	機械器具設置工事
工事概要	工事場所：松江市朝日町 工事内容：松江テルサのエレベーター1号機、2号機の部品を更新するもの。
適用条項	地方自治法施行令第167条の2第1項第2号 (不動産の買入れ又は借入れ、普通地方公共団体が必要とする物品の製造、修理、加工又は納入に使用させるために必要な物品の売払いその他の契約でその性質又は目的が競争入札に適しないものをするとき。)
契約業者名	フジテック(株) 中四国支店
契約金額(税込)	52,140,000円
経過	随意契約審査会承認日：令和4年5月18日 契約日：令和4年8月8日

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
業務名	中海大橋補修耐震補強設計業務委託
履行期間	令和4年8月25日～令和5年3月10日
業務種別	土木関係建設コンサルタント
業務概要	業務場所：松江市八幡町外 業務内容：【測量業務】・現地測量 1式 ・深淺測量 1式 【設計業務】・耐震補強詳細設計 1業務 ・仮設工詳細設計 1業務 ・補修設計 1業務
業務のランク	なし
指名業者数	15者
指名業者を選定した考え方	市登録業者で、下記の条件を満たす18者中、市内に本社がある12者及び市内に契約の委任をした営業所を持つ3者をローテーションで指名。 ● 「鋼構造物及びコンクリート」部門で登録した技術士、RCCM、認定技術管理者のいずれかが在籍すること。 ● コンクリート診断士が在籍すること。 ● 電子入札登録者であること。
入札参加業者数	15者
予定価格（税込）	（非公開）
調査基準価格（税込）	（非公開）
契約金額（税込）	47,080,000円（落札率：（非公開））
入札の経緯及び結果	令和4年8月18日 開札（同日落札決定） 第1回目の入札で15者が応札し、その内1者は予定価格超過であったが、他の14者は予定価格以下の応札であり調査基準価格を上回っていたため、(株)エイト日本技術開発 松江支店に落札決定。

1. 落札率等の状況について

(説明要旨)

【建設工事】

○落札率の推移

令和4年度11月末までの平均落札率は96.79%で、ここ数年で見ても少し高い数値となっている。

今回の対象期間である8月から11月の平均落札率は95.84となっており、概ね例年通りだが、5月に入札した総合文化センターの大規模改修や東出雲複合施設といった1億超えの事業で高い落札率だったため高くなっている。

○月別入札件数と落札率の推移

令和4年度11月末までの落札件数は219件と昨年同時期に比べて約61件増加している。

昨年度の1年間の工事件数が226となっており、今年度は11月末で既にそれに近い数量の発注となっている。

原因として、令和3年度に発生した災害からの復旧工事や、学校や公民館施設の空調工事及びトイレの様式化工事があったため。

○工種別落札率の推移

業種による特徴はないが、解体工事のみが90%以下となっており、これについては本市においても失格ラインとなる最低制限価格を島根県と同様の基準で導入しており、解体工事については80%となっているため、他の工種と比べ低くなっている。

○価格帯別落札率推移

今年度については一部の価格帯においては高くなっているが、特段の特徴はなく概ね95%前後となっている。

○入札執行状況

令和4年度11月末までの不調・不落の件数は113件であり、取止めとしたものもあるが、基本的には指名する業者や設計の変更による再入札で対応している。

昨年度の同時期と比べても81件増えており、特に災害工事においての不調・不落が多くなっており、近隣の小さな工事をまとめてある程度の規模の工事にして発注したり、さらには技術者の兼務条件の緩和などにより対応しているが、各事業者の手持ち工事(受注余力)の関係で不調が急増したものと推測される。

そういったことから、事業者側の手が空くタイミングが分からないため、同じ案件でも2回3回と出し続けている状況のため、この不落不調の数値については同じ工事のものが多数入っている。

【業務委託】

○落札率の推移

令和4年度11月末までの落札率は94.26%で、例年と比べ少し高めとなっている。

○月別入札件数と落札率の推移

通常は当初予算議決後準備が整う6~7月での発注が多くなるが、今年度は9月議会で新た

な予算決定後の10月も発注が多くなっている。

○業種別落札率の推移

業種における特段の特徴はないが、補償については11月に実施した工損調査にて落札率75%の低入札があったため低くなっている。

○価格帯別落札率推移

2,000万～3,000万円未満については、多少低くなっているが、これはこの価格帯における業務数が少ない中で最低制限価格ギリギリの案件が1件あったため低くなっている。

○入札執行状況

令和4年度の不調・不落は2件発生しており、内1件は既に再入札で契約相手方が決定した。

2. 入札方式別発注工事等の状況について

添付の資料を参照いただきたい。(詳細説明は省略)

質問及び意見	回答
土木工事の災害復旧工事の不調・不落が懸念されるところで、今後は計画的に次年度以降に出していくということになるか。	現在の状況は、道路災害についてはほぼ受注していただいております、工事がほぼ終わっている状態。河川災害についても、補助金を数本残すところとほぼ終わっている。残る農林災害は査定や受益者のからみなど発注が出遅れたことで、どうしても業者の手がなかった。そのためかなりの数が再入札となっている。ただ農林災害の中でも田んぼや水路については8割から9割発注が終わっている。残りについてはもう1度入札をしてダメであれば、耕作が始まるので秋口に回すという計画で発注課は進めている。一番危惧しているのが林地崩壊といわれる裏山の災害。これについては、2回から3回入札を行っているものの、受注がゼロの状態。どうしても現場条件がよくないのと、業者が少ないにもかかわらず発注件数が多い。法面協会とどういった発注がいいのか相談しており、3月末か4月の初めに案件を出して受注してもらいたいような計画としている。
避難等、ソフト面での対応も含めて住民の安全を確保してほしい。また工事に係る書類で煩雑な部分がある場合は柔軟に対応していただきたい。	できるだけ対応したい。

審議結果：全委員了承

【審議事項について】

1. 一般競争入札【西持田不燃物処理場土堰堤築堤工事】

※工事概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書資料3-1のとおり。

○本工事は、土堰堤の築堤と操業用道路を盛土により新設する工事であり、一般的な工種で積算は単純だったが、盛土材を他現場の残土流用で賄う計画であり、性質の異なる土材に対し臨機の対応が必要とされる。

そのため、適切な土質試験や、残土搬入時期の工事間調整及び、必要に応じ地盤改良等の検討が必要になることが想定され、現場管理に経費が嵩むとの懸念から利益を確保するため高い価格での応札になったと推察される。

なお、無効となった1者は、配置を予定していた技術者が盛土工事の経験と実績が豊富であり、円滑に工事を進めることで経費が圧縮できると判断し応札したと推察される。

質問及び意見	回答
他現場の残土を流用ということだが、その現場は松江市の発注した工事の現場か。	松江市の工事に限らず島根県とも連携して公共工事の現場で発生した土。
今回無効の根拠となった規程はどういう目的で定めてあるか。	低入札になると失格ではなく低入札価格調査を行い、その調査の結果次第で落札業者となる。落札業者となった場合は配置予定技術者が専任での配置が必要となる。その調査の間、他の入札を止めておくわけにはいかないことから、同一の技術者を配置予定の場合は低入札以降の入札を無効としている。
落札した場合同じ技術者の配置ができなくなることを知って同一の技術者を申請することがあるか。	どの工事が落札できるかわからないため、同一技術者を複数の入札に申請することはよくある。
今回の工事によってどれくらい持つか。	50年間、よって令和54年度まで。ただし、最終的にはもう1段5m堰堤を造る必要あり。

審議結果：全委員了承

2. 一般競争入札【深田野原地区道路改良その9工事】

※工事概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書 **資料3-2** のとおり。

○本工事は、既設道路を拡幅改良する工事の内容は一般的な工種により構成されている。

落札した1者は高い積算能力を有することから、利益率を考え出来るだけ予定価格に近い金額で応札を試みたものと推察される。

応札が1者になったことについては、その他の競争参加資格者が災害復旧工事等により手持ち工事が多く、応札に至らなかったものと推察される。

質問及び意見	回答
1者しか参加していないが、ヒアリング等は行ったか。	災害復旧工事が多く、地域の業者は地域を守るために災害復旧工事を率先して受注いただいている。一定水準を超えて受注してしまうと社員が疲弊してしまうので、受注できる余裕ができた業者が入札参加できていると思う。もしかするとこの業者も他の工事とのタイミングが合わなければ受注してい

	なかった可能性もある。
審議結果：全委員了承	
3. 指名競争入札【市道下佐陀古志線新共栄橋長寿命化対策その3工事】	
<p>※工事概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書 資料3-3 のとおり。</p> <p>○本工事は塗装工事であることから、「塗装工事業」の建設業許可をうけている市登録業者で、記載の条件を満たす業者全7者を指名している。</p> <p>本工事は通常の橋梁塗装の塗り替えに加え、長寿命化対策として橋梁部材の補修、PCBを含む既設塗装膜の除去等を含む工事だが、見積歩掛の公表や今年度7月より実施している見積単価の公表により、予定価格に近い金額の算出は可能であったものとする。</p> <p>また、橋梁部材補修に係る外注経費や、慎重にならざるを得ない既設塗装の塗膜除去および回収作業を見込み、各社とも利益率を確保するため高い価格での応札となったものとする。</p>	
質 問 及 び 意 見	回 答
<p>予算が限られている中で市として管理する橋梁を減らすべき。建築施設については市町村合併の際に公共施設適正化において整理されているが、土木施設については松江市はいまだ多く持っておられるので、適切な数にして継続的に維持管理ができるような計画を考えていただきたい。</p>	<p>建設総務課交えて協議したい。</p>
審議結果：全委員了承	
4. 随意契約【松江テルサエレベーター更新工事】	
<p>※業務概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書 資料3-4 のとおり。</p>	
質 問 及 び 意 見	回 答
<p>部品の調達に契約業者以外不可能ということだが、他に販売はしていないということか。</p>	<p>していない。自社製品にしか取り付けられない部品。他の業者が部品を買って取り換えるのは不可能。制御盤をはじめ各社特許や独自の技術を持っており、他社のエレベーターのメンテナンスはできない。</p>
<p>設備投資の意思決定をする際に、目先の金額の多寡だけではなく、メンテナンスがいいのかそれとも数億円費やしても今回更新した方がいいのかといったことを情緒的ではなく数値的な面から比較検討をするべき。</p>	<p>そうした視点が大事だと思うので、全体計画含め検討したい。</p>
審議結果：全委員了承	
5. 指名競争入札【中海大橋補修耐震補強設計業務委託】	
<p>※業務概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書 資料3-5 のとおり。</p>	

○この業務においては、耐震補強設計等に関する標準積算歩掛がないため、「鋼構造物及びコンクリート」部門で登録した技術者、並びにコンクリート診断士が在籍する業者のうち9者に歩掛見積依頼をし、依頼を受けた全者から見積を徴収した。

この9者の歩掛を基に、広く一般に公開を行っている、「業務委託における見積による歩掛の決定方法」により、その見積の平均直下の歩掛りを採用し、業務設計書を作成している。

入札に当たっては、この歩掛見積を徴収した9者を含め15者を選定しているが、本橋は長大橋であるうえ、構造も特殊であることから各社はできるだけ利益率をあげたいと考えるなか、落札した(株)エイト日本技術開発は、見積を徴収したコンサルタントのなかで、最も低い見積額を提示していることと、中海大橋を設計し、これまでの調査設計業務を受注していることから、本件についても受注意欲が高かったものと推察される。

質 問 及 び 意 見	回 答
難易度の高い橋だが、指名競争入札において適切な指名を行っているか。	指名に際しては、設計額が1000万円を超える、あるいは特殊な設計を要するものについては、15名以上の従業員を有する準市内業者6者から2者以上指名することを選定基準で定めており、今回の指名選定理由を考慮した結果、市内業者11者、準市内業者4者を指名した。
指名業者の中で、実績的に市内業者ではほとんど請け負える業者がないのではないか。	今回いただいたご意見を踏まえ、実績面も考慮し今後の指名に生かしていきたい。

審議結果：全委員了承

【報告事項】

①指名停止等の運用状況について

令和4年8月1日～令和4年11月30日の期間における指名停止は3件5者あり。

質問及び意見は特に無し。

【その他】

〔次回開催予定について〕

令和5年度第1回委員会は7月頃に開催することとし、日時は事務局で調整する。

以上